

注意！冬の入浴事故！

入浴中の事故は、持病がない場合、前兆がない場合でも発生する恐れがあります。特に高齢者の入浴中の事故は、発生すると入院が必要な中等症以上になる割合が高く、事故の予防が重要です。そのためには、高齢者の方本人が注意するとともに家族の方など周りの方も一緒になって事故を防止することが大切です。

入浴中の事故を未然に防ぐため次の点に注意しましょう。

入浴時の注意点

- ・入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
- ・湯温は41℃以下、湯につかる時間は10分までを目安にしましょう。
- ・浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。
- ・食後すぐの入浴、またアルコールが抜けていない状態での入浴は控えましょう。
- ・精神安定剤、睡眠薬などの服用後の入浴は危険ですので注意しましょう。
- ・入浴する前に同居者に一声掛けて、見回ってもらいましょう。

お風呂場でぐったりしている人・溺れている人を発見したら、救急車を！

